

# 事務事業チェックシート

事務事業No **597** 事業名 **中学校国際交流助成事業（姉妹都市、友好都市との交流）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
事項		中学校国際交流助成事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	3	今日の課題に対応した教育の推進

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	神崎 信彦 (435-1139)	
関連課			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市の中学生・高校生が、外国の生徒と交流することで、広い国際的視野を養う。	和歌山市とリッチモンド市の中・高校生が相互訪問し、学校交流やホームステイを行い、国際親善に努める。本市の中・高校生が訪問するのは、隔年である。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行った	和歌山市から中学生がリッチモンド市に親善訪問を行い、交流を行った。	リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行った。	和歌山市から中学生がリッチモンド市に親善訪問を行い、交流を行う。	リッチモンド市から訪問団が来和し、交流を行う。

## 2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	0	0	2,471	1,845	465	365	2,257		465		
	伸び率 (%)	-	-	-	-	-81.2%		385.4%		-79.4%		
	人件費	常勤職員	1,011	2,177	2,177	2,110	2,110	2,472	2,353		2,353	
		非常勤職員										
		小計	1,011	2,177	2,177	2,110	2,110	2,472	2,353		2,353	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源（税等）	0	0	2,471	1,845	465	365	2,257		465		
所要人数	常勤職員	0.14	0.29	0.29	0.28	0.28	0.32	0.32		0.32		
	非常勤職員											
主な予算内訳		外国出張旅費 2,257千円										

## 3 目標及び実績

	指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				年度目標値	実績値	年度別達成度	全体目標達成度	年度別達成度
活動指標	渡航回数	年度目標値		0	1	0	1	0
		実績値				1		
	単位	回	全体目標値		全体目標達成度		100.0%	100.0%
	年度別達成度							
成果指標	渡航時参加者数	年度目標値			30		30	
		実績値				36		24
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度		120.0%	80.0%
	年度別達成度							
	来和時参加者数	年度目標値		500		800		
		実績値		800		1,210		
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度		160.0%	151.3%
	年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>カナダ・リッチモンド市との姉妹都市交流は40周年を迎え、学生同士の定期的な交流も定着している。受け入れの際の学校訪問は、各校とも工夫を凝らした交流プログラムを組んで、意義ある活動となっている。若いうちに異文化に直接触れる機会を提供することは大切であるとする。</p>
「見直し」「改善」案	<p>訪問時、受け入れ時共に参加者の満足度は非常に高い。今後もホームステイ受け入れ先の開拓やプログラムの充実に努めたい。</p>